[参考資料]

1．原料費調整制度の概要

・原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、
毎月、従量料金単価（1㎥あたりの単価） を調整する制度です。

・基準平均原料価格（83,350円／㌧）と平均原料価格（3～5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格）の差額100円 につき、
1㎥あたり 0.081円（税抜）調整します。

・ガス料金（一般ガス供給約款）の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/㌧を上限とします。

2．平均的なガス使用量（29㎥/月）のご家庭のガス料金（2027年1月検針分）

（1）平均原料価格の算定

＜LNG平均輸入価格＞				＜LPG平均輸入価格＞				
121,780（円/㌧）	×	0.9576	＋	116,390（円/㌧）	×	0.0466	＝	122,040.302（円/㌧）

⇒ 122,040（円/㌧） ※10円未満を四捨五入

（2）平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

＜平均原料価格＞		＜基準平均原料価格＞		
122,040（円/㌧）	－	83,350（円/㌧）	＝	38,690（円/㌧）

⇒ 38,600（円/㌧） ※100円未満を切捨て

（3）従量料金単価調整額の算定

＜原料価格変動額＞						＜消費税率＞				
38,600（円/㌧）	×	0.081（円/㎥）	÷	100（円/㌧）	×	（ 1	＋	0.10 ）	＝	34.3926（円/㎥）

⇒ 34.39（円/㎥） ※小数点第3位以下を切捨て

（4）従量料金単価（税込）の算定（一般ガス供給約款 料金表Bの場合）

＜基準単位料金＞		＜従量料金単価調整額＞		＜政府支援分＞※		
169.03（円/㎥）	＋	34.39（円/㎥）	－	4.00（円/㎥）	＝	199.42（円/㎥）

（参 考） 2026年12月検針分の従量料金単価との比較

＜2027年1月の従量料金単価＞		＜2026年12月の従量料金単価＞		
199.42（円/㎥）	－	199.05（円/㎥）	＝	＋0.37（円/㎥）

※電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援に基づく値引き。

（5）ガス料金（2027年1月検針分、税込）

＜基本料金＞		＜従量料金単価＞		＜ガス使用量＞		
1,588.88（円/月）	＋	199.42（円/㎥）	×	29（㎥/月）	＝	7,372.06（円/月）

⇒ 7,372（円/月） ※1円未満を切捨て

以 上